

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和3年5月27日（木）

2 調査対象 第3学年生徒15名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均と同程度でした。
数学は、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- 家で自分で計画を立てて勉強をしているかについて、「よくしている」と答えた生徒が多い。
- 2年生の時に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用したかについて、「ほぼ毎日」と答えた生徒が多い。（全国7.4p、本校28.6p）
- 学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用したかについて、「ほぼ毎日」と答えた生徒が多い。（全国9.7p、本校50.0p）
- 国語に対する学習意欲が高まっている。

課題が見られた項目

- 1日当たりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなどを使ったゲームも含む）を使用する時間が多い。（3時間以上 全国32p、本校50p）
- 地域の行事に参加していると答えた生徒が少ない。
- 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことを苦手とする生徒が多い。
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている生徒が少ない。
- 数学の授業において、活用問題を多く取り上げるとともに、課題に対して粘り強く取り組むよう指導する必要がある。

5 学力向上の取組

今回の調査結果を分析し見えてきた成果や課題を生かして、次のような5つの取組を全職員で推進し、生徒一人一人の学力を向上させるよう指導に当たっていきます。

①PDCAサイクルの実践…特にA（Action）の取組の重視

- ・調査結果の全体での共有化を図り、自身の担当教科ではどのような取組ができるか明確にする。それらを具現化する取組を積極的に行う。

②教師一人一人の「単元デザイン力」の向上

- ・単元を通して、どのような力を育成するのかを明確にする。特に単元のどの場面で、授業のどの場面で目的意識のある言語活動を構成し、生徒の表現力を高めていくのかを明確にし指導にあたる。

③教育活動全体を通した「表現力」の育成

- ・教科の授業だけでなく、特別の教科道徳や学級活動を通して、多様な考え方に触れたり、思考ツールを活用しながら考えを深めさせたりする活動を積極的に取り入れ、自分の考えや想い、感情を他者に伝える表現力の育成に、学校あげて取り組む。
- ・豊かな表現力を身につけさせるために、今以上に読書活動を推進させるとともに、ブックトークなどの取組を通して表現力を高めさせる。

④スケジュール手帳（フォーサイト手帳）の活用による学習・生活習慣サイクルの確立

- ・スケジュール手帳（フォーサイト手帳）の活用を通して、授業と家庭学習をつなぎ、学習習慣を確立させる取組をさらに推進する。また、手帳活用の有用性を生徒や保護者に実感させながら、生徒の主体性を高めるための力を鍛える方策の1つとして、今後も手帳の活用を学校全体で推し進めていく。さらに「振り返り」を重視し、生徒が成長実感を抱き、自己肯定感を高めることができるように支援していく。

⑤効果的にICT機器を活用した授業の推進

- ・ICT機器の活用率が高く、生徒自身も活用している実感が高いという「強み」を強化するために、校内研修会を充実させ、授業における効果的な活用方法を校内で共有化していく。このような取組を通して、教員一人一人のICT活用能力を向上させていく。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、以下の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・テレビの視聴、ゲーム・インターネットの時間や携帯電話・スマートフォンの利用はルールを決める。
- ・フォーサイト手帳を活用しながら計画的な家庭学習、宿題や学校の授業の復習をしっかりと行う。

○読書や新聞について

- ・読書に親しむ習慣や新聞を読む習慣を身につけさせる。

○地域行事等への参加

- ・多くの方とのふれあいを大切にする。